

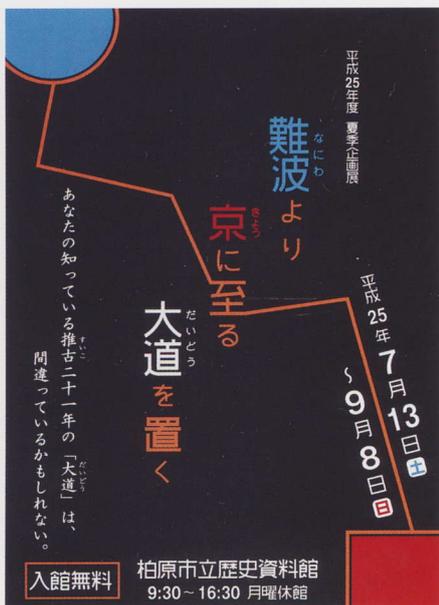
ゴンドラ

No.10

難波より京に至る大道を置く

平成25年度夏季企画展は、「難波より京に至る大道を置く」をテーマに開催しました。これは『日本書紀』推古21年(613)の記述にみられるもので、難波から宮殿のあった飛鳥まで道路を設置したというものです。この大道とは、通説では難波宮からまっすぐ南へのびる通称「難波大道」、そして東へまっすぐのびる竹内街道のこととされています。そして、今年(2013年)は、大道設置から1,400年にあたるため、竹内街道周辺の博物館などでは、「竹内街道開通1,400年」あるいは「日本最古の国道」などをテーマにした特別展やイベントが開催されています。しかし、「難波大道」や竹内街道が7世紀初めに設置されたことは何も証明されていません。本当に、それでいいのでしょうか。

当館では、最近の調査成果や古代寺院の分布、聖徳太子の斑鳩宮の位置などから、推古21年の大道とは、渋河道—竜田道—太子道だったのではないかという想定のもと、夏季企画展を開催しました。新しい研究成果をもとに、通説に頼らない展示を企画しました。今後、推古21年の大道について、調査や研究が進むことを期待したいと思います。当館では、これからも新たな研究成果を取り入れた斬新な展示を心がけていきたいと考えています。



リーフレット



展示風景

企画展のご案内

◎平成 25 年度秋季企画展「大和川のおいたち」

平成 25 年 9 月 24 日～12 月 8 日

江戸時代の大和川のつけかえ工事を中心に、その 2 万年の歴史をふりかえり、流れの変化や人々との関わりについて考えます。

◎平成 25 年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たち」

平成 26 年 1 月 7 日～3 月 9 日

毎年開催しているちょっと昔の道具についての展示です。小学校 3 年生の学習内容に合わせた展示にしています。

◎平成 25 年度春季企画展「郷土の偉人」

平成 26 年 3 月 29 日～6 月 22 日

各地の近代水道設備の整備に尽力した吉村長策、地元で教育事業に取り組んで大きな成果を残した武田眞治郎ら柏原出身の偉人にスポットを当てます。

※タイトル・期間等は変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。

お知らせ

◎史跡高井田横穴特別公開

平成 25 年 10 月 19 日（土） 10:00～15:00 史跡高井田横穴公園

普段は鍵がかかっている横穴を、鍵を開けて公開します。そのほかに、お楽しみイベントも計画しています。ぜひ、お越しください。

◎体験教室

「しめなわづくり」と「わらぞうりづくり」を行います。それぞれ 12 月上旬と 2 月上旬を予定しています。昔ながらのつくりかたで、昔の人々の知恵を学びましょう。

◎刊行物

・『河内大橋』

平成 25 年度春季企画展の展示図録です。『万葉集』に詠まれた「河内大橋」について、いつ造られたのか、だれが架けたのか、どこに架けられていたのか、などについて考えています。

オールカラー 24 ページ。400 円。

・『難波より京に至る大道を置く』

平成 25 年度夏季企画展に伴う展示図録。『日本書紀』推古 21 年（613）にみえる記述から 1,400 年。その大道とは、どこを通っていた道だったのか。

オールカラー 28 ページ。300 円

・『柏原市立歴史資料館館報』25 号

本文 84 ページ、カラー図版 1 ページ。400 円。

企画展を終えて

★平成 24 年度秋季企画展「水を治める」

平成 24 年 9 月 25 日～12 月 9 日

観覧者数 9,813 人（個人 1,121 人、団体 8,692 人）

★平成 24 年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たちー昔話の風景ー」

平成 25 年 1 月 6 日～3 月 3 日

観覧者数 1,546 人

（個人 629 人、団体 917 人）

★平成 24 年度春季企画展「河内大橋」

平成 25 年 3 月 23 日～6 月 23 日

観覧者数 2,293 人

（個人 1,654 人、団体 639 人）

★平成 25 年度夏季企画展

「難波より京に至る大道を置く」

平成 25 年 7 月 13 日～9 月 8 日



春季企画展展示風景

出張展示

平成 24 年 9 月 25 日（火）から 10 月 8 日（日）まで、大阪府立中央図書館 1 階の展示コーナーで、「鳥坂寺再興」と題した出張展示を行いました。柏原市市民歴史クラブ、大阪府立中央図書館との共催で、市民歴史クラブが製作した鳥坂寺の伽藍模型と鴟尾模型を中心に、壁面には夏季企画展で使用した展示パネルなどを並べて展示を行いました。多数の来館者がある図書館という場所で、普段は当館まで足を運ぶ機会のない方々に見ていただくことはよかったですと思います。期間中に、「よみがえる謎の鳥坂寺」と題した講演会も開催しました。

平成 25 年度も、同じく 8 月 27 日（火）から 9 月 8 日（日）まで、「智識寺と河内大橋」と題した出張展示を行います。今回は、智識寺の伽藍模型と河内大橋の模型が中心です。これからも、機会をみつけて、いろいろなどころでの展示を試みていきたいと考えています。

柏原市立歴史資料館 出張展示
平成 24 年
9 月 25 日（火）～10 月 8 日（月）
<10 月 1 日（月）は休館>

と
さ
か
で
ら
さ
い
こ
う

河内大橋の謎と、鳥坂寺とほんま寺だったのか。
伽藍や鴟尾の模型を展示し、パネルでわかりやすく
解説します。

会場：大阪府立中央図書館 1 階展示コーナー
交通：近鉄けいはんな線 荒本駅から北西へ 400m
主催：柏原市立歴史資料館・柏原市市民歴史クラブ
共催：大阪府立中央図書館

◆ 講演会 ◆
9 月 30 日（日） 13:30～15:00
安村俊史（柏原市立歴史資料館館長）「よみがえる謎の鳥坂寺」
会場：大阪府立中央図書館 2 階大会議室
定員：70 名（申込不要、当日先着順）、参加費無料
お問い合わせ：柏原市立歴史資料館 TEL 072-976-3430

特集展示コーナーの新設

平成 24 年に開館 20 周年を迎えたことをきっかけに、常設展示の展示替えが求められていました。しかし、予算やスタッフの問題から大幅な展示替えはむずかしかったため、常設展示の後半部分の展示方法を変更し、特集展示のコーナーを設けることにしました。

まず、民具の展示コーナーを企画展示室入口部分に移し、再現された昭和初期の家の周囲に展示品を並べることにしました。そして、常設展示の後半部分をフリースペースとし、まず「柏原の古代」の特集展示を行いました。展示資料の中心は、智識寺の伽藍模型です。市民歴史クラブが平成 22 年度に製作したのですが、あまり展示機会がないので、今回の展示となったものです。そのまわりには、奈良時代の火葬墓、木簡、まじないの道具、生活道具などを展示しました。

9 月からは、「天誅組・新選組と柏原」の特集展示です。天誅組には田中楠之助、新選組には大谷良輔という 2 人の人物が参加していました。どちらも柏原市法善寺の人で、同じ村から天誅組と新選組の隊士が生まれたという事実は意外と知られていません。そこで、天誅組・新選組の結成から 150 年を迎える平成 25 年に特集展示を行うことにしました。今後の特集展示にご期待ください。



—ひとこと—

ゴンドラ第 10 号をお届けします。この 1 年間も、府立中央図書館での出張展示や、市民団体と共催で劇・体験事業の開催など、新たな事業に取り組んできました。少しずつですが、当館の活動は広がってきています。しかし、入館者は少しずつですが、減少しています。団体入館者は増加しているのですが、個人入館者が減少しています。当館の活動が不十分である、あるいは魅力的な展示、事業がないということなののでしょうか。残念ではありますが、これを糧に常に新たな気持ちで取り組んでいきたいと思っています。夏季企画展の推古 21 年設置の大道も、研究成果を展示に反映させるという方法を大胆に導入してみました。その結果は、来館者の方々の判断にお任せしたいと思いますが、将来、あのときの展示のおかげで・・・ということになればいいなと思っています。(Y)

柏原市立歴史資料館

休館日 月曜日（祝日でも休館）、年末・年始

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分 入館料 無料

〒582-0015 大阪府柏原市高井田 1598-1 TEL 072-976-3430